

ふりがな 氏名	ちやばな なおみ	都道府県	大阪府	
	<b>茶花 尚美</b>			
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ NPO 法人シンフォニー</li> <li>・ 認定 NPO 法人環境市民</li> </ul>			
関心・活動の SDGs	  			
私のESD活動	島暮らしや海外経験を活かし、NPOの児童ホームで、主に小学生の発達と成長のサポートをしています			

## 活動の概要

日本で取り組んでいる SDGs の事例をインド等の環境課題国で展開していくことを考えています。具体的には、京都の NPO 環境市民で取り組んでいる『エシカル通信簿』を使って企業と直接的なコミュニケーションを図ることで、持続可能性の高い商品の提供を企業に求めます。環境や人権を意識している消費者と、利益を追求する企業との溝を埋める役割を担います。

この手法は社会や会社の規模に関わらず利用でき、他の手法と合わせることで、より高い効果を示せると考えています。特に環境破壊の意識がないままに、環境破壊を行っている事業に対しての喚起となります。消費者の想いを商品に反映させることで業績が上がる可能性を伝える数値やデータを提供するなど、環境コンサルタント業務を現地に作ることで、雇用の創出にもつなげます。

一方で教育機関に対するアプローチとして、学生へ環境教育レクリエーションを提供していきます。遊びながら環境教育をすることで、大人も一緒に遊びながら学ぶことができます。地域のコミュニケーションツールの一つとなって地域に溶け込むことで、活動の継続を図ります。これは実際にインドを訪問した際に知った手法で、現地の NPO が行っていました。夏には湖が綺麗な森の中でキャンプをして、都会の汚れた湖との違いを学生たちに知ってもらおうそうです。楽しい体験と一緒に身近な環境問題について考えることで、綺麗な自然を残したいと思うようになるようです。

・第3回エシカル通信簿 調査結果 <http://cnrc.jp/topics/topics-697/>

## 私が考える教育の未来像

人の価値観は大なり小なり異なるということを土台の認識として共有し、差異について互いに譲歩できる客観性と寛容性を育む教育です。

自分自身を幸せにすることに責任を持ち、その幸せが社会に波及することを喜びとするような、それぞれが生まれてきた幸福を感じられるような社会創りへと繋がる教育が理想です。地球の資源を考えた持続可能性を土台とし、正解のない時代に物事を実現させるための思考力と実行力、協働力を身につけ、経験したことのない世界に対する想像力を養い、それぞれが認め合い、慈しみ合える感受性を育むことが大切だと考えます。

## 私の強み、活かせる経験やスキル

積極的にコミュニケーションをとって、人の良いところや強みを見つけることが得意です。状況を客観的に判断するよう心がけており、その場に応じて、リーダーシップを取ることも、サポートをすることもできます。廃校になった小学校を使って、食育と農業を掛け合わせたイベントを開催したときには、それぞれの強みを活かして、役割分担をしました。児童ホームでの勤務では、子供達のモチベーションがあがるよう、褒めたり、感謝を伝えるよう心がけています。海外渡航経験があり、物怖じせずに初めてのことにチャレンジするバイタリティーがあります。